

# 一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、21人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。  
（一）内には、各党派等からの質問申し出時間を記載していません。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	370分
公明党	5人	205分
誠友会	3人	165分
日本共産党	2人	145分
市民連合	2人	145分
新政クラブ	1人	70分
無所属	2人	各30分

\*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



熊谷 寿人  
水曜会 (60分)

## 福山ネウボラは

**問** 福山ネウボラの業務内容と相談員の配置は。

**答** 妊娠から学童期に至るまで子育てに関するさまざまな相談を受けていく。妊娠期は、相談窓口で母子健康手帳の交付を行い、出産前後は、相談員が支援の必要の人に対して作成している支援プラ

ンに基づき、産前・産後のサポート事業などのサービスを利用してもらうことにより育児不安等の軽減を図る。子育て期は、これまで別々であった発育相談などの母子保健と子育てに関する相談の窓口を一体的に行い、切れ目のない支援につなげていく。さらに、かかりつけ医や保健師、関係機関などと連携を図り、個々の状況に応じたきめ細やかな支援を行う。

相談員の配置は、12カ所の相談窓口に、看護職や保育士の資格を持つ相談員を1名から数名ずつ配置している。



高田 健司  
水曜会 (60分)

## 福山駅前の再生は

**問** リノベーションによるまちづくりの手法と福山城などの史跡を活用したまちづくりの考え方は。

**答** まちに、にぎわいを取り戻したいという志を持った事業者と地域に点在する空き店舗などの遊休不動産の所有者をマッチングし



大田 祐介  
水曜会 (65分)

## 鞆のまちづくりは

**問** 埋め立て架橋計画が中止となり、山側トンネル案も課題が多い。当面の通過交通処理策として鞆港内に県営フェリーを就航し、大型車両だけでも対岸に渡せば町内の渋滞も緩和され沼隈半島を循環する周遊観光も成立するのではないか。

**答** 鞆港内におけるフェリーの運航は、海上運送法に基づき地方運輸局長の許可を得る必要がある。実現すれば、町中の交通混雑の緩和をはじめ、観光バスの利便性の向上や、沼隈半島の周遊ルートの形成、さらには、新たな鞆の魅力創出などが期待できる。

鞆のまちづくりに係る広島県の全体方針との関わりもあり、環境整備の在り方や事業主体、経営も含めた運航計画などについて広島県と連携し、検討を要するものと考えている。

ていくことで、地域の特性を生かした新たな事業や雇用を連鎖的に生み出し、個々の建物だけではなく、エリア全体の価値を高めていくリノベーションによるまちづくりに取り組む。また、伏見町地区では、発掘調査により築切が確認されたほか、二重櫓などの貴重な遺構が残存していると考えられる。特に、築切は国の史跡に指定されるような重要な遺構であると既に文化庁から評価されており、歴史的な資源を生かしたにぎわいの創出や魅力の向上につなげることが重要である。

\* 6月定例会の一般質問の録画放送を見る場合  
福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。